



広報
www.jalc.or.jp

第459号
2012年6月10日

おかげさまで創立40周年を迎えました

月造協

発行／一般社団法人日本造園建設業協会 (Japan Landscape Contractors Association) 創刊／昭和49年6月1日 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-17 井門本郷ビル2階 TEL03(5684)0011 FAX03(5684)0012

本号の主な内容

- 2、3面 特集：「再生発展方策2011」
以降の動向と造園建設産業
3面 【学会の目・眼・芽】第35回 下村 彰男氏
造園の思想や技術を伝えること
4面 【緑滴】私がみる松山城 原田 裕一郎

があり、環境省の前身として環境庁が発足した年です。緑化・造園業界も上昇気流に乗り元気でした。今年、社会人となつた新入社員は40年後には定年が待っているという数回りです。日造協についている方は、本当に設立時のことを見知っています。

日本造園建設業協会（日造協）は昨秋、発足して40年の区切りを迎えた。40年前と言えれば、沖縄返還協定が調印され、建設業法の改正

があり、環境省の前身として環境庁が発足した年です。緑化・造園業界も上昇気流に乗り元気でした。今年、社会人となつた新入社員は40年後には定年が待っているとい

うです。日本造園建設業協会（日造協）は昨秋、発足して40年の区切りを迎えた。40年前と言えれば、沖縄返還協定が調印され、建設業法の改正

40年の節目に「緑業」のはなし

環境緑化新聞編集発行人 井上 元



号をつけるのが通例でした。「紙業月報」は今も続いています。これにあやかつて緑の業界だから「緑業月報」をつかったのでした。その後、「月刊日造協」に衣替えし、折に触れてマイナーチェンジをしながらも今日に至っています。変更に対

しても設立時のことを見知っている方は、本当に設立時を見知っています。

日本大震災の被災地における復興事業が本格化する中で、さまざまな要請に造園の再生に取り組み、被災地の復旧・復興に貢献する力が發揮し、豊かな環境の再開に取り組み、被災地の復旧・復興に貢献する力が求められています。

また、造園建設業に対する社会的な認知度の向上に

向けて、要望・提言活動を通じた普及啓発活動や生活

活動等の機会を捉えてさら

に強力にアピールするこ

とが必要と考えています。

星造園土木株式会社取締役会長

星造園土木株式会社取締役会

会 だより

総支部、支部、事務局からの記事を紹介します

福島県支部

仮設小学校・

幼稚園の環境緑化事業

飯館村で復興支援



(右) ハナミズキ、サツキを共に植える
も参加団体となつてある東一復興支援ネットワークの福島県支部では、日造協・日本大震災「花とみどりの」活動として、飯館村の仮設小学校及び仮設幼稚園の環境緑化事業を行いました。飯館村は、東日本大震災並びに東京電力福島第一原子力発電所事故により計画的非難区域に指定され、全村避難となり、学校施設については、1年間隣町の伊達郡川俣町のお世話になつています。

(左) 小学校の生徒とこのたび仮設校舎を建てることとなりましたが、故郷へ帰れない子供たちが工場のような殺伐とした校舎

飯館村で復興支援活動花とみどりの復興支援活動として、飯館村の仮設小学校及び仮設幼稚園の環境緑化事業を行いました。飯館村は、東日本大震災並びに東京電力福島第一原子力発電所事故により計画的非難区域に指定され、全村避難となり、学校施設については、1年間隣町の伊達郡川俣町のお世話になつています。

で過ごさなければならぬことに対して我々ができることとして、今回の支援活動に取り組むこととしたもので。4月16日に全生徒・園児が参加してみどりの樹木と美しい花々が植えられ、4月18日に見違えるような潤いのある緑の環境を作ることができました。

4月20日には開校式にご招待を頂き、菅野村長はじめ校長先生・園長先生や生徒代表の皆さんから、心から感謝のお言葉を頂きました。また、この場をお借りしまして、この活動が全国の日造協会員の皆さまのご支援によることに心から感謝いたします。

(福島県支部長 櫻井貞夫)
このたび仮設校舎を建てることとなりましたが、故郷へ帰れない子供たちが工場のような殺伐とした校舎

熱中症に気をつけましよう!

炎天下や室温の高いときだけではなく、これから梅雨時などでも熱中症になることがあります。熱中症の症状が出ていても本人や周りが気づかないことがあります。症状、予防法、事後の対応などを作業管理者、作業者へ教育することが大切です。

ぜひ日造協の「改訂版造園安衛生管理の手引き」を活用下さい。
○価格2500円(税・送料込)(日造協会員980円)で販売中。
詳しくは日造協ホームページをご覧ください。
<http://www.jalc.or.jp/publish/>

当協会機関紙「広報日造協」縮刷版の販売を行います。詳細が決まりましたら改めて当協会のホームページ等でご案内致します。

■広報日造協縮刷版の販売について
(平成4年6月号～平成24年5月号まで)
当協会機関紙「広報日造協」縮刷版の販売を行います。詳細が決まりましたら改めて当協会のホームページ等でご案内致します。

■委員会等の活動
(5月9日水)
平成23年度の要望結果
(本部・総支部・支部)報告と今年度要望計画を検討した。アクションプログラム推進特別委員会

平成23年度事業報告及び決算・会費徴収規程の改正、会員の入会等について審議した。総務委員会(企画・財務部会)

平成24年度第1回通常理事会提出議案等について審議した。総務委員会(企画・財務部会)

平成24年度第5回輪全国大会合同委員会開催会議

平成24年度事業計画とPFIによる配信について審議した。

平成24年度の事業計画とPFIによる配信について審議した。

平成24年度の事業計画とPFI